

沖縄大学におけるJアラート（弾道ミサイル発射時等）作動時の対応について

他国からミサイルが発射され、万が一、沖縄県内への影響が予想される場合には、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート（全国瞬時警報システム）」が活用され、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、携帯電話・スマートフォン等に緊急速報メール等により伝達されますので、落ち着いて以下の行動をとってください。

【屋外にいる場合】

- ・ 近くの建物の中（頑丈な建物が望ましい、それ以外の建物でも構わない）、または地下（地下施設、地下駅舎など地下施設）に避難する。
- ・ 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。

（ミサイルが着弾した場合）

口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。

【屋内にいる場合】

- ・ できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

（ミサイルが着弾した場合）

換気扇、エアコンを止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

【授業中の場合】

- ・ 教室にとどまり、窓がある場合は、窓から離れる。屋外にいる場合は、授業を中断し、建物の中に避難する。
- ・ 学内放送等により大学から指示がある場合には、それに従うこと。

【その他】

- ・ 授業や定期試験を平常通り行うことができないと判断された場合は、休講もしくは試験日の振替などの特別措置をとることがあります。特別措置の内容については、大学ホームページ等でお知らせします。

弾道ミサイルが落下する可能性がある場合に国民がとるべき行動については、内閣官房国民保護ポータルサイトに掲載されていますので、参考にしてください。また、内容については、随時、更新されていますので各自で確認してください。

発令時の状況別対応

登校前		通学中	
対応	自宅待機	対応	保護者・学生自身による安全確保
備考	市町村からの指示に従う	備考	・周囲の公共機関等に避難し情報を得ると共に指示に従う ・安全が確認され移動が可能になったら移動の時間距離を判断し「自宅に戻る」か「登校」する
登校後		帰宅中	
対応	担当教員による安全確保	対応	保護者・学生自身による安全確保
備考	危機管理対応に準じて安全が担保できる教室・特別教室・体育施設等に移動し、公共機関からの情報の収集を行う	備考	・周囲の公共機関等に避難し情報を得ると共に指示に従う ・安全が確認され移動が可能になったら交通機関の状況を確認し、安全行動をとる

内閣官房国民保護ポータル

- ・ [内閣官房国民保護ポータルサイト](#)
- ・ [武力攻撃やテロなどから身を守るために（内閣官房パンフレット） \[PDF\]](#)
- ・ [弾道ミサイル落下時の行動について](#)
- ・ [弾道ミサイル落下時の行動に関する Q&A](#)

関連情報

- ・ [全国瞬時警報システム\(Jアラート\)（総務省消防庁）](#)
- ・ [緊急速報メールを受信できるかの確認方法と受信できない場合の対策（総務省消防庁）](#)